



A1 倶楽部

2016.1 新春号

【発行所】

さとう栄一
後援会総連合会

〒321-0954
栃木県宇都宮市元今泉5-1-22
TEL.028-662-3300
FAX.028-662-5501

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

100年先まで誇れるまちを、みんなで。

新年、明けましておめでとうございます。
皆様には、日頃より何かと高配を賜り心より厚く感謝申し上げます。
宇都宮市におきましては、市政120周年を迎える節目の年であり、将来のまちづくりの新たな基礎を築く重要な年でもあります。

昨年は9月の関東・東北豪雨により宇都宮市でも災害が発生しました。被災された皆様には心からお見舞いを申し上げますとともに、復旧に全力を尽くしております。一方、「住みよさランキング」2015年版において、全国の人口50万人以上の都市で3年連続1位となり、宇都宮市は高い評価を得ました。これからも「選ばれるまち」の実現に向けて取り組んでまいります。

課題である人口減少社会においても持続的に発展できるように、「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に向けて、総合的な交通ネットワークを構築するため、次世代型路面電車（LRT）について、昨年はLRTの運営会社「宇都宮ライトレール株式会社」を設立、2016年度にJR宇都宮駅東側の工事に着手するとともに、バス路線や地域内交通の充実に取り組んでまいります。

また、こども医療費助成制度について、現物給付の対象を中学3年生まで拡大することに向け取り組むなど、子育てしやすい環境づくりや高齢者が自立した生活ができるよう健康寿命の延伸に向けた健康づくり、また25回目を迎えるジャパンカップサイクルードレースの記念事業などに取り組む、5年後の市民の幸せ・100年後の都市の繁栄に向けて全力で進めてまいります。

本年が、皆様にとりまして大きな飛躍の年になりますよう心からお祈りいたしますとともに、3期4年目の節目の年になりますので、より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

宇都宮市長 佐藤栄一

賃貸で人気の駅

よく検索された賃貸物件情報から算出

関東 **1** 位

不動産住宅情報サイト「スマイティ」賃貸で人気の駅ランキング関東編より（平成24年）

発展力のあるまち

生産年齢人口・新設住宅着工床面積・課税対象所得額など

全国 **2** 位

週刊東洋経済「日本のいい街2012」より人口50万人以上の28都市中

行政サービス水準

子育て・福祉・教育・公共料金など

全国 **2** 位

「日経グローバルNo.115」（平成21年）より人口50万人以上の26都市中

地域ブランドの魅力

ご当地料理

地域の中で魅力を感じる割合が高いもの

全国 **1** 位

日経リサーチ「地域ブランド戦略サーベイ2013」より531市区中

民力度

産業・消費（事業所数・新設住宅着工数など）

全国 **2** 位

東洋経済別冊「都市データブック2015年版」より人口50万人以上の28都市中

子育てに優しいまち

産み、育てやすい・医療の充実

全国 **2** 位

アエラ ウィズ ベビー「AERA with Baby 2009年号」より全国95自治体中

宇都宮の実力ランキング

3年連続

住みよさ度

安心度・利便度・快適度・富裕度・住居水準充実度

全国 **1** 位

東洋経済別冊「都市データブック2015年版」より人口50万人以上の28都市中

ジャパンカップ 25回記念



今年で25回目を迎える、アジア最高峰の自転車ロードレース「ジャパンカップサイクルロードレース」の大会は9月の大雨により田下町の市道（萩の道）などコース中の2カ所で土砂崩れが発生した。佐藤市長

台湾へトップセールス

国際観光の推進のため、6月26日から台湾で開催された「日本の観光・物産博2015」に初出展、佐藤栄一市長がトップセールスをした。会場ではジャパンカップサイクルロードレースやカクテルなどを中心に宇都宮をPRし、台湾からの観光客拡大を目指す。宇都宮の餃子などの質問が出て関心の高さをうかがわれた。また、佐藤市長は2015年のジャパンカップサイクルロードレースに台湾関連の2チーム「ランプレ・メリダとアタック・チーム・ガスト」が出場することを発表し、「チームを応援するため、ぜひ宇都宮に来てください」と呼びかけた。プーラスではガストの選手のサイン会も開かれ、多くのサイクルファンの行列ができた。



台湾の自転車チーム「ガスト」との契約にサインする佐藤市長。

は「斜面が再び崩落する危険性があるため、観衆、選手の安全を第一に考えた」と説明し、コース変更になった。25回目となる今年は記念事業も検討され、「自転車のまち宇都宮」の更なる盛り上がりが見込まれる。

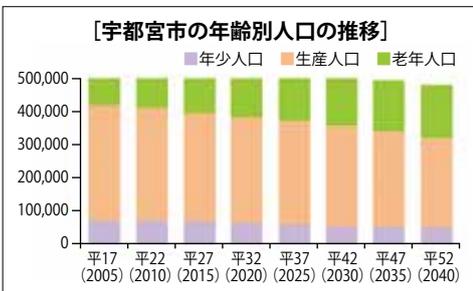
中学3年生まで医療費無料化へ

佐藤市長は、今年の4月からこども医療費助成制度について中学3年生までの対象拡大に向けて取り組むことを明らかにした。医療機関での立て替え払い不要の現物給付となる。制度の拡大について「人口減少社会が本格化する中、更なる少子化対策に取り組む必要がある」と語った。

まち・ひと・しごと創生総合戦略

日本の総人口は、2008年に約1億2808万人、栃木県の総人口は2005年の約202万人をピークに減少に転じている。一方、宇都宮市の総人口は過去50年間増加し続けており、2015年現在も増加している。し

かし、年齢別の人口の推移を見ると、年少人口（0歳～14歳）はすでに減少を続けている。高齢人口（65歳以上）は増加を続けているため、目指すべき将来の方向を示す取り組み「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を進めていく。少子化傾向に歯止めをかけるには、市民の結婚・出産・子育ての希望を実現して、人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図り、生活の質を維持・向上させ、「持続的に発展できるまち」の実現のため、今後の人口規模・構造の変化に適合した都市の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を推進していくことが必要である。



佐藤栄一市長の1年間の主な活動実績

総合戦略



★「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」の策定 (2015/2)

少子・超高齢化、人口減少社会においても宇都宮市が持続的に発展できるまちの姿として、

その都市構造のイメージや具体的な推進方策を示す。

★「宇都宮市人口ビジョン」「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定 (2015/10)

人口の将来展望として2050年においても人口50万人を維持する見通しと、今後5年間の具体的な施策を示す。

人づくり・健康づくり



★「宮っこ子育て子育て応援プラン 後期計画」の策定 (2015/3)

保育所・認定子ども園等の整備促進や結婚の希望をかなえる支援の充実

★「返還免除型奨学金貸付制度の創設 (5年間宇都宮市に居住継続することにより返還を免除)

経済の活性化



★宇都宮市の中小企業に対する信用保証料補助 (4月～10月実績で約1億3千万円)

★プレミアム付商品券の発行 (18億円分の商品券発行)

★外国人の誘客事業 (台湾へのトップセールスの実施)

安全・安心なまちづくりの推進



★大雨による溢水等被害対策の推進 (ちとせ寮跡地や平出工業団地内の調整池整備など)

★全小学校の周辺にスクールゾーンの路面表示、全小中学校に防犯カメラを導入

拠点形成の促進

【整備イメージ】



★大手地区市街地再開発事業への支援 (2018年度竣工予定)

★JR岡本駅周辺地区の整備 (駅舎橋上化、自由通路の2016年夏頃供用開始)

★河内・上河内地域自治センターの整備 (それぞれ2016年3月、2016年秋頃供用開始)

※建築物の意匠やデザイン等については、変更を予定しています。

総合的な交通ネットワークの構築



★LRT整備 (運営会社の設立、芳賀・宇都宮東部地域公共交通網形成計画の策定 (2015/11))

★地域内交通の充実 (2015年現在、10地区11路線)

★自転車のまちうつのみやの推進 (自転車走行空間、サイクリングロードの整備など)

★(仮称)大谷スマートICの整備促進 (国の事業許可 2015/7、測量・設計等の実施)



さとう栄一後援会
総連合会
会長 中津正修

佐藤栄一市長は、43歳で初当選され今では宇都宮の顔として、また栃木県市長会長、全国市長会副会長として全国を駆け巡り、活躍の場を広げております。佐藤市長には今後も宇都宮市の先頭に立ち、明るい未来を切り開いていただき「5年後の市民の幸せ・100年後の都市の繁栄」の実現に向け、皆様の一層のご支援をよろしくお願いいたします。

平成27年女性の集い開催

昨年の11月7日に女性の集いを開催いたしました。懇親会では新アトラクションも登場し、400名を超える女性参加者から歓声がわきました。



平成27年青栄会開催



昨年、青栄会の懇親会を開催しました。20代から40代前半の若手経営者らが溢れんばかりに集まり、未来の宇都宮を熱く語っていただきました。

活動報告

5月13日	A1 club 総会
6月6日	A1 club ゴルフコンペ
9月26日	さとう栄一後援会総連合会 ゴルフコンペ
10月5日	青栄会懇親会
10月29日	さとう栄一後援会総連合会・役員懇談会
11月7日	さとう栄一市長を囲む女性の集い